



八束のひろは

～八束公民館報 第29号～

発行：松江市八束公民館運営協議会 〒690-1404 松江市八束町波入2060 Tel(0852)76-3663 Fax(0852)76-3669



令和5年3月12日「松江伝統芸能祭」島芝翫節保存会出演



大好き！八束、
そして島芝翫節しましかんぶし

銀行員 岩田 乙華
(株)島根銀行境支店勤務 (八束町入江在住)

私は生まれ育った八束が大好きです。この大好きな町を盛り上げることが私の小さな夢でした。この小さな夢を叶えるのが「島芝翫節」です。

島芝翫節とは、松江市八束町に江戸時代から伝わる民謡で、江戸時代の文化・文政(1804年～1830年)の頃、当時の江戸歌舞伎において名のあつた、中村芝翫、嵐璃寛、市川門之助、市川鯉十郎等の芸風を讃えて、各地で芝翫節が唄われていました。今では全国で唯一、江戸後期の栄華を誇る文化の名残を、この大根島で伝承されています。

昨年、島芝翫節保存会会長の門脇弘子さんから一本の電話が入り、その電話が島芝翫節を踊るきっかけとなりました。その内容は、「松江伝統芸能祭に出てみたい?」でした。踊るのは約8年ぶりで不安もありましたが、八束を盛り上げることに貢献できるような気がして了承しました。折角の機会ですので、小学生時代同じクラブ活動で踊っていた遅江在住の安部悠那さんを誘い練習を始めました。会長の門脇弘子さんや、元踊り手の門脇芳子さんに細かいところまで丁寧にご指導いただき、約3か月間練習しました。常に膝を曲げて踊ること、内股、ゆっくりした曲調など、いろいろなところで苦戦しました。小学生の頃と違って本格的な島芝翫節は、練習すればするほど奥が深く難しかったです。何回も練習に付き合ってくれて頂き、感謝でいっぱいです。本年3月12日の「松江伝統芸能祭」当日は、とても緊張しましたが、保存会の皆さんに舞台上で楽しんでと後押しされ、誇りをもって踊ることができました。

小学生の時に、八束学園のクラブ活動で島芝翫節を知り、その体験があったから今の活動に結びついていると思います。もつと練習を重ね、島芝翫節を受け継いでいきたいと思えます。私たちの踊りを見て、やってみたいと思う人が増え、島芝翫節を通して八束町が盛り上がることを願っています。



〈左から(敬称略)〉
後列: 田中省次、門脇弘子、田中信尋
前列: 安部満里奈、岩田乙華、渡部美百合、安部悠那

- 〈座談会 メンバー〉
- ① 島芝翫節保存会代表 門脇 弘子(波入)
 - ② 島芝翫節保存会 渡部美百合(馬渡)
 - ③ 島芝翫節保存会 安部満里奈(二子)
 - ④ 島芝翫節保存会 安部 悠那(漣江)
 - ⑤ 島芝翫節保存会 岩田 乙華(入江)

特集 第17回 座談会

しまし かんぶし 伝統芸能「島芝翫節」の継承

大根島に伝わる民謡「島芝翫節」は、江戸時代の文化・文政の頃、江戸歌舞伎で名のあつた中村芝翫等の芸風を讃えて唄われ、今では全国で唯一、江戸後期の栄華を誇る文化の名残を伝えていきます。本日は、島芝翫節保存会の皆様方にお集まりいただき、保存会の歴史や普及活動、担い手等について対談しました。(新型コロナウイルス感染症対策に配慮して実施。)

島芝翫節の歴史



門脇 弘子さん
(波入)

門脇(代表)：江戸時代に中村芝翫らの芸風を讃えて唄われたのが芝翫節です。大阪歌舞伎俳優によって出雲地方にも伝えられたと言われています。現在では、大根島にだけ伝承されていることから「島芝翫節」と呼ばれ、子どもの頃からよく踊っていました。しかしながら、昭和50年八東小学校100周年記念に踊ったのを最後に一旦途絶えましたが、このままでは伝統文化が失われるとの声から、昭和60年(1985年)に保存会が立ち上げられ、平

成19年(2007年)から代表をさせてもらっています。



H33年 NHKテレビ放映(広報やつか)より

- 保存会立ち上げ時(S60年)のメンバー
- 歌い手
 - ・房枝(波入)
 - ・渡部 一郎(馬渡)
 - 三味線
 - ・門脇 順(波入)
 - ・喜多 孝治(入江)
 - 小太鼓
 - ・豊島 豊秋(波入)
 - ・柏木 朋道(波入)
 - 踊り手
 - ・福岡 千代枝(波入)
 - ・門脇 末子(波入)
 - ・岩田 繁子(入江)
 - ・門脇 弘子(波入)
 - ・渡部 美百合(馬渡)

普及活動と後継者の育成

門脇(代表)：私が代表を引き受けてから15年になります。この間、会員の皆さんも高齢になられ、唄や踊り、三味線、小太鼓を口伝で継承することが難しくなりました。継承していくための解決策を公民館と一緒に検討し、平成25年に八東学園で音楽を担当する今岡正治教諭に、島芝翫節の楽譜の作成をお願いしました。難しい作業だったようですが、お陰様で譜面によって伝えるようになりました。また、お囃子の担い手については、町外



渡部 美百合さん
(馬渡)

渡部：昭和60年の保存会立ち上げの時、歌の好きな主人に声がかかり、踊り手も必要と言われ、踊りが好きな私も主人と一緒に参加することになりました。最初は、ゆっくりしたテンポの踊りでできるか不安でしたが、毎日自宅で鏡を見ながら練習に励みました。徐々に踊りの良さもわかり舞台にも上られるようになりました。あれから約40年、当時は懐かしいですね。

の奇特な方（佐藤勇人さん）から「大根島だけの唯一無二のものを絶対残さなくては…」と、三味線（田中信尋さん）、小太鼓（田中省次さん）の協力者を紹介していただき、今に繋がっています。大変ありがたく感謝しています。

岩田・門協会長からの電話が保存会に入るキッカケでした。私は、八束町が大好きですが、近年は祭りや行事（イベント）が減り、また八束町を出る人も多く寂しく思います。保存会を通して八束町の魅力を多くの人に知っていただき、昔のように盛り上がり嬉しそうですね。



安部 悠那さん
(遅江)

安部（悠）…島芝翫節の踊り手など担い手が少なくなっていると聞き、小学生のクラブ活動で踊りを経験していましたので、もう一度踊ってみたいなと思います。保存会に入りました。本年3月12日に開催された「松江伝統芸能祭」に、島芝翫節保存会も出演することとなり3か月間練習しました。8年ぶりの舞台で緊張もりましたが、周りの方と振りを含

わせながら、無事踊りきることができました。楽しかったですね。

渡部…この八束町から歌い手、三味線、小太鼓の後継者が生まれたらうれしいですね。やってみよう、いつでも歓迎します。保存会の活動で印象に残っているのは、平成19年大阪・近畿松江会での披露や、令和元年に静岡県熱海市で行われた、「第55回全日本民謡指導者研究会」の指導者約800人に踊りを指導したことです。今思えば良き思い出です。また踊るたびに、皆さんから「よかったよ！」と声をかけてもらうと、踊り続けていてよかったです。



安部 満里奈さん
(二子)

安部（満）…現在、踊り手として参加していますが、島芝翫節の伝統を継承していくためには、会長さんの話にもありますが、唄や三味線、小太鼓を演ずる人の担い手が必要です。現在、三味線に興味があり習い始めました。また、唄や小太鼓にも挑戦したいと思っています。



八束学園生への指導風景

八束学園生のクラブ活動

門協（代表）…八束学園生への島芝翫節の踊りの指導は、平成10年（25年前）から行っています。ここ3年間はコロナ禍で中止でしたが、本年から再開します。今までに約200名は体験したことになりますね。メンバーの安部満里奈さんは、小学校のクラブ活動をキッカケに、今は踊り手のセンターで頑張ってもらっています。

安部（満）…私も島芝翫節踊りを始めたのが、小学4年のクラブ活動からです。3年間続け、中学3年から高校生の時、また声をかけてもらいました。過去3年間はコロナ禍でクラブ活動がなく、子供たちも踊りを知りません。ようやくコロナも収束傾向にありますので、今後はクラブ活動の3年間だけでなく、中学生や高校生でも参加できるような機会があればと思います。



岩田 乙華さん
(入江)

岩田…クラブ活動での思い出として、ゆっくりとした動きに眠たくなつたのを覚えています。当時は、教える先生方がもっと多かったように思います。みんなで楽しく伝統芸能に触れることが出来て楽しかったです。私のようにクラブ活動をキッカケに島芝翫節に興味を持ち、保存会に入ってくれることを期待します。


安部（悠）準備から後片づけまで、みんなワイワイしながらやっています。また浴衣を着るのが楽しみでした。島芝翫節がもっと多くの人に伝わるように、いろいろなイベントに参加し、受け継いでいきたいですね。

門協（代表）…八束学園のクラブ活動経験者2人が新たに加わり、とてもうれしいです。大根島が大好きという2人に期待しています。終わりに、本年3月松江市伝統芸能祭に出演させていただきました。皆様方から沢山のお褒めの言葉をもらい、会員一同とても喜びました。これからも、島芝翫節の保存継承に努めてまいりますので、よろしくお願ひします。

担当業務と活動状況

1. 指定管理業務（市生涯学習課所管）

公民館管理関係		担当名
① 公民館指定管理に関する事		吉野
② 施設及び機材機器の整備・維持管理・貸与に関する事		太田・藤原
③ 施設の防火関係に関する事		館長
④ 窓口業務・予約管理に関する事		太田・藤原
⑤ 他機関との連絡・調整に関する事		吉野
⑥ 公民館の調査、統計資料等に関する事		吉野・太田
⑦ 文書事務その他公民館の庶務に関する事		吉野
⑧ 公印の管守に関する事		吉野
⑨ 公民館の予算、決算等経理に関する事		吉野
⑩ 公民館運営協議会の庶務に関する事		吉野
⑪ 配布物に関する事（公民館関係）		太田
⑫ 松江市広報（配布物）に関する事		吉野

公民館事業関係		担当名	
① 広報事業に関する事	・公民館報	※こちらから ご覧いただけます 	館長
	・公民館だより		太田
	・ホームページ		太田
② まちづくり事業に関する事		館長	
③ 人権事業に関する事		太田	
④ 文化活動・伝統文化事業に関する事	・文化祭	太田	
	・伝統文化	太田	
	・文化等講演会	吉野	
		吉野	
⑤ 防災事業に関する事		吉野	
⑥ 青少年事業に関する事	・青少年健全育成	藤原	
	・八束っ子育成部事業	太田	
	・放課後子ども教室推進事業	吉野	
	・子ども見守り活動	太田	
⑦ 環境美化・市民憲章事業に関する事	・かるた大会	藤原	
	・クリーン八束	藤原	
	・花づくり	全員	
⑧ 健康福祉事業に関する事		藤原	
⑨ 地域スポーツ事業に関する事		吉野	
⑩ 成人講座（にんじん学校）に関する事		太田	
⑪ 読書推進事業に関する事		太田	
⑫ その他事業に関する事		太田・藤原	
⑬ 松東ブロック事業関係	・市民学習発表会	吉野	
	・ジュニアリーダー研修	藤原	
⑭ 松江市公民館協議会関係		太田	



にんじん学校視察研修
 「奥出雲スイッチバック体験、多根自然博物館」



男の料理教室



文化祭「展示部門」



八束っ子育成部「クリスマス会」

令和5年度 公民館職員の

2. 指定管理業務(市スポーツ課所管)



ゴビウス出前講座「メダカの観察をしてみよう」

八束体育施設管理関係		担当名
①	八束体育館に関すること	安部
②	八束テニスコートに関すること	安部
③	八束総合運動場(野球場・多目的広場)に関すること	安部

3. 指定管理業務以外(各種団体)

(会費徴収団体)



八束学園での読み語り「お話の窓」

団体名	会長名	担当名
八束地区社会福祉協議会	橋 一秀	藤原
八束地区自治会連合会	安部吉輝	吉野
八束町体育協会	中村勢次郎	吉野

(その他の団体)



木のおもちゃと秋のコンサート

団体名	会長名	担当名
八束町青少年健全育成協議会	建田浩司	藤原
八束地区人権教育推進協議会	吉岡敏弘	太田
八束地区交通安全対策協議会	門脇 篤	藤原
八束地区交通安全協会	門脇 篤	藤原
八束子ども安全対策連絡会・青色パトロール	竹谷文雄	太田
八束地区地域安全推進員会	竹谷文雄	太田
八束子ども広場運営委員会	松本正福	吉野
八束地区AIデマンドバス利用促進協議会	池田 均	館長・吉野
八束地区市民憲章推進協議会	池田 均	藤原・吉野
島芝翫節保存会	門脇弘子	太田
八束町島弁保存会	渡部房子	太田

八束公民館 職員紹介



安部 美代子
体育施設担当



藤原 稔
主事



太田 美喜子
主事



吉野 史子
主任



池田 均
館長



上定松江市長講演会

令和5年度 八東公民館 運営協議会委員

顧問	顧問	監事	監事	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	副会長	副会長	会長				
足立	門脇	門脇	柏木	池田	竹谷	曾田	渡部	門脇	豊島	岡垣	桑垣	渡部	豊島	渡部	吉岡	藤井	安部	角田	高橋	門脇	門脇	安部	萩原	橘一	建田	安部	松本
利康	康篤	利篤	利篤	文明	明雄	和菜	冷子	美紀	登勇	三枝	照子	天津	敏弘	伸士	一佳	由美	里美	真司	康成	年未	萩治	一秀	橘一	建田	安部	松本	吉正
人雄	康篤	利篤	利篤	文明	明雄	和菜	冷子	美紀	登勇	三枝	照子	天津	敏弘	伸士	一佳	由美	里美	真司	康成	年未	萩治	一秀	橘一	建田	安部	松本	吉正

八東公民館の運営については、地区内の関係機関、団体の代表者等で構成される八東公民館運営協議会を、指定管理者とする指定管理制度（平成二十二年より）により行われています。八東公民館運営協議会は、事業計画、予算および事業実施、決算等について審議決定します。また、八東公民館の事業を効果的に運営するために四つの専門部を置いています。各専門部は、地域課題の解決にむけた公民館事業の企画立案実施し、住民主体で進める公民館運営の柱として機能しています。

八東公民館運営協議会

会長 松本 正福 (江島)
副会長 安部 吉輝 (二子)
" 建田 浩司 (波入)

健康長寿部

部長 橘 一秀 (入江)
副部長 安部 一九生 (波入)

- 地区社会福祉協議会事業
- 健康福祉事業

スポーツ振興部

部長 萩原 治 (入江)
副部長 岡 登勇 (波入)

- 体育協会事業
- ニュースポーツ教室

八東っ子育成部

部長 建田 浩司 (波入)
副部長 竹谷 文雄 (入江)

- 青少年健全育成事業
- 子ども安全対策事業
- 健全育成事業
- 八東子ども広場事業
- 読書活動の推進
- ジュニアリーダー研修

まちづくり部

部長 安部 吉輝 (二子)
副部長 池田 均 (遅江)

- まちづくり
- 広報活動
- 人権教育研修
- 成人講座・研修
- 伝統文化事業の継承
- 歴史文化事業
- 文化祭
- 文化等講演会
- 防災・地域安全の推進
- サークル活動の推進
- 環境美化(市民憲章)活動

令和5年度 八東地区各種団体役員

自治会連合会

会長 安部 吉輝

副会長 松本 剛一

" 渡部 浩

" 渡部 和子

副会長 吉岡 敏弘

" 渡部 和子

会長 中村 勢次郎

副会長 竹谷 広行

" 安部 秀司

" 安部 秀司

高年齢者クラブ連合会

会長 藤井 伸士

副会長 池田 康

" 渡部 裕子

" 渡部 宏子

人権教育推進協議会

会長 吉岡 敏弘

副会長 竹谷 州代

青少年健全育成協議会

会長 建田 浩司

副会長 門脇 みずほ

子ども安全対策連絡会

会長 竹谷 文雄

副会長 伊藤 保彦

地域安全推進委員会

会長 竹谷 文雄

副会長 渡部 昭博

市民憲章推進協議会

会長 池田 均

副会長 安部 吉輝

民生児童委員協議会

会長 安部 一九生

副会長 門脇 昌徳

" 柏木 正光

更生保護女性会

会長 渡部 天津子

副会長 野島 京子

" 松本 由里

松江消防団八東方面団

团长 竹谷 眞治

副团长 中村 勢次郎

" 安部 純

交通安全協会

交通安全対策協議会

会長 門脇 篤

副会長 門脇 繁

八東学園PTA

会長 伊藤 保彦

副会長 柏木 哲也

" 門脇 栄一

" 曾田 明菜

令和4年度 八束公民館 決算書

Table with columns: 費目, 決算額, 説明. Rows include 市費 (指定管理料, 社会人権教育推進事業委託料), 地元費 (公民館費, 受講料, 使用実費, 雑収入, 繰越金), and 歳入総額 27,483,356.

Table with columns: 費目, 決算額, 説明. Rows include 人件費 (職員給料, 社会保険料他), 管理費 (複合施設等光熱水費, 委託料他), 事業費 (総務部費, 青少年部費, 文化部費, etc.), 予備費 (0), and 歳出総額 26,125,484.

差引残額 1,357,872

令和5年度 八束公民館 予算書

Table with columns: 費目, 予算額, 説明. Rows include 市費 (指定管理料, 社会人権教育推進事業委託料), 地元費 (公民館費, 受講料, 使用実費, 雑収入, 繰越金), and 歳入総額 28,573,713.

Table with columns: 費目, 予算額, 説明. Rows include 人件費 (職員給料, 手当, 福利厚生費), 管理費 (複合施設等光熱水費, 委託料, 使用料賃借料他), 事業費 (総務部費, 青少年部費, 文化部費, etc.), 予備費 (0), and 歳出総額 28,573,713.

差引残額 0

[所管：市教育委員会生涯学習課]

令和4年度 八束体育施設 決算書

Table with columns: 費目, 決算額, 説明. Rows include 市費 (指定管理料), 地元費 (利用料(体育館), 利用料(野球場), etc.), 雑収入 (312,471), and 合計 13,249,341.

Table with columns: 費目, 決算額, 説明. Rows include 人件費 (給料), 消耗品費 (144,438), 燃料費 (66,743), 印刷製本費 (17,030), 通信運搬費 (82,335), 光熱水費 (4,622,767), 修繕費 (516,275), 使用料及び賃借料 (312,360), 保険料 (154,490), 原材料 (13,200), 委託料 (3,646,896), 自動販売機電気料 (169,958), 自動販売機等設置使用料 (142,428), 手数料 (10,285), 自動車保険料 (81,080), and 合計 13,249,341.

差引残額 0

令和5年度 八束体育施設 予算書

Table with columns: 費目, 予算額, 説明. Rows include 市費 (指定管理料), 地元費 (利用料(体育館), 利用料(野球場), etc.), 雑収入 (320,200), and 合計 12,670,200.

Table with columns: 費目, 予算額, 説明. Rows include 人件費 (給料), 消耗品費 (120,200), 燃料費 (70,000), 印刷製本費 (10,000), 通信運搬費 (85,000), 光熱水費 (4,210,000), 修繕費 (200,000), 使用料及び賃借料 (347,000), 保険料 (156,000), 原材料 (60,000), 委託料 (3,690,000), 自動販売機電気料 (180,000), 自動販売機等設置使用料 (140,000), 手数料 (50,000), 自動車保険料 (82,000), and 合計 12,670,200.

差引残額 0

[所管：市文化スポーツ部スポーツ課]

中村元博士が残した『慈しみあふれる言葉』を紹介します①

松江市出身でインド哲学・仏教学の世界的権威、中村元博士が残した慈しみあふれる言葉を、八東町中央の「八東複合施設」正面玄関東横にある掲示板で毎月紹介します。掲示内容は「中村博士自身が述べた言葉」の中から、中村元記念館の加藤千乃学芸員が選び、公民館で書道を学ぶ「中央書道サークル（橘淳子代表）」のメンバーが中心となって毛筆でしたためます。



(左から)シビ・ジョージ駐日インド大使、ニキレーシュ・ギリ在大阪・神戸インド総領事

令和五年四月掲示

唯我独尊

中村元のことば

【出典・解説】
ブッタが生誕時に言ったと伝わる「天上天下唯我独尊」について中村元博士が述べた言葉。「……この『ただ、我のみ尊し』というのは、何も威張って言ったわけではないのです。それは、奥に潜んでいる『我』というものが尊いものであり、偉大なるものをそこに背負っているということを書いてあるわけです。つまり、個人あるいは個人の命というものは、決して他から隔絶されたものではないということです。そして、それ故に、それぞれの人がかけがえのない尊い存在である、というわけです。」
(中村元『仏教の神髄』を語る)より)

令和五年五月掲示

和顔愛語

中村元のことば

【出典・解説】
中村元博士が老いについて述べた中の言葉。「……もう働くこともできなければ、動くこともできないような人が病床にいたとします。こういう人は、どうしたらいいのか。しかし彼らといえども、感謝の念をもって他人を助けることができます。彼らは優しい言葉で、にこやかな顔つきで人を受け入れることができます。これを『和顔愛語』と言います。この感謝の気持ちというものは、東洋人によって特に強調されました。こういう気持ちをもってすれば、たとえ動けない病人でも、他人を幸福ならしめ、快い気持ちを起こさせることができます。」
(中村元『人生を考える』より)

令和五年六月掲示

修証一如

中村元のことば

【出典・解説】
中村元博士が人間の迷いの解釈について述べた言葉。「……これを解決するためには、道元が説いている『修証一如』の思想によるべきであろうと、私個人としては思っています。修証一如の、修証というのはおさめる、つとめる。証というのは悟ることです。悟るといえるのはどこにあるか。われわれが努めるところ、その内にあるということです。何かを自分で苦勞して努めますね。努力して真剣に求める、その中に悟りがあるのです。だから不断の連続になるわけです。しよつちゅう迷っているけれど、その迷っている中に悟りがある。それが私にとっでは一番受け入れやすい解釈です。」
(中村元『仏教入門』より)

令和五年七月掲示

自己を護る

中村元のことば

【出典・解説】
中村元博士が原始仏教聖典「真理のことば」『ダンマパダ』を紹介する中で述べた言葉。「自分で自分を励まし、努力しなければほんとうの自分というものはでてこないでしょう。(中略)ことに『自己を護る』という言葉があります。これなど非常に味わいのあることばだと思えます。自己を護るというのは、なにも自分の持っているわずかなものをよくよく守るという意味ではなく、ほんとうに自分を自分として確立するようにせよというわけです。」
(中村元『原始仏典Ⅱ人生の指針』より)

あとがき

大根島① 「中村芝翫」

～芸は芝翫で男は寛寛
可愛らしいが門之助
人の好くのが緞十郎
ハレワノヨイヨイ

大根島に伝わる民謡「島芝翫」。江戸歌舞伎で名のあった三代目中村芝翫らの芸風をたたえてうたわれ、江戸後期の町人文化の名残を今に伝えていきます。当時、中村芝翫一座の巡業で江戸伝来の歌舞曲として各地で愛唱され、興業の合間に民衆に踊りを教えたのが起こりといわれています。
唄は緩やかで、三味線、太鼓のはやしが付き、また留め袖姿に扇を持った歌舞伎調の優雅な踊りが特徴。今では全国で唯一、この大根島で唄と踊りが伝唱されています。
8年前に歌舞伎俳優の中村橋之助さんが、八代目中村芝翫を襲名されました。今日まで守り続けた島芝翫節を、畏れながらも八代目に披露したいですね。

(池)